

PRESS RELEASE

2026 年 7 月 15 日

報道関係者各位

SOLIZE Holdings 株式会社
(証券コード：5871、東証スタンダード)
株式会社 STELAQ**AI 駆動経営を見据えた人材・業務変革研修サービス「STELAQ AI Dev Camp」を提供開始
～ツール導入にとどまらず、AI 時代の業務遂行力を組織に実装～**

SOLIZE グループでソフトウェア開発サービスを手掛ける株式会社 STELAQ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山本 美希子）は、AI 活用を個人レベルにとどめることなく、組織全体の生産性向上および競争力強化へとつなげる「業務遂行力」の育成を目的とした研修サービス「STELAQ AI Dev Camp（ステラック エーアイ デブ キャンプ）」の提供を開始しました。

「STELAQ AI Dev Camp」は、プロジェクトマネジメント研修および AI ドリブン研修を体系的に組み合わせたサービスの総称です。本サービスでは、SOLIZE Holdings 株式会社が 30 年以上にわたり培ってきたエンジニア教育のノウハウを活用したプロジェクトマネジメント研修を提供します。さらに、株式会社 Hexabase が提供する AI ドリブン研修について株式会社 STELAQ がライセンス供与を受け、AI 時代の人材育成と業務変革を支援する総合ソリューションとして展開します。

A：プロマネ研修**問題解決&プロマネ力を型化し、
属人的ノウハウを組織知へ****メニュー**

- ①問題解決フレームワーク・PMBOK基礎と実践
- ②炎上ケースリバーシエンジニアリング

ユースケース

プロマネ知識や理解に差があり、重要案件のQCDを担保できない。特に炎上ケースでは、顧客との信頼関係に影響したり利益圧縮の要因になるなど、開発管理に課題が大きい。

期待効果

形骸化プロセスを実態に即して再標準化し、失敗要因を言語化。改善サイクルを仕組みへ。

B：AIドリブン研修**AI活用力を組織に実装し、
個人技から組織力へ****メニュー**

- ①開発エンジニア向けAIドリブン研修
- ②ホワイトカラー向けAI活用研修

ユースケース

AI一人親方や野良エージェントが散乱し、AI活用が俗人化。再現性・横展開ができていない。セキュリティやコードルールなど、品質の統一化が課題に。

期待効果

AIドリブン開発や、AI活用を組織全体で標準化し、個人依存から再現性のある仕組みへ。

本研修は、画一的なメニューを提供するものではなく、2つの変革アプローチを単独または組み合わせ、さらに個社向けソリューションを追加しながら、お客さまの課題に応じた最適な施策をオーダーメイドで設計・提供する点が特徴です。

その中核プログラムの一つとして、プロジェクトの遅延、品質問題、体制不全、顧客との認識齟齬などが複合的に発生したケースを題材とした「炎上プロジェクト立て直しシミュレーション」を実施します。受講者は、現状把握、課題整理、優先順位付け、初動対応方針の策定を通じて、複雑なプロジェクトを立て直すための実践的な思考と判断を体験的に学びます。

また、単なる研修にとどまらず、経営課題・組織課題の把握から設計・実行・定着にいたるまでを一気通貫で支援し、AI時代における人材・業務変革の実現に貢献します。

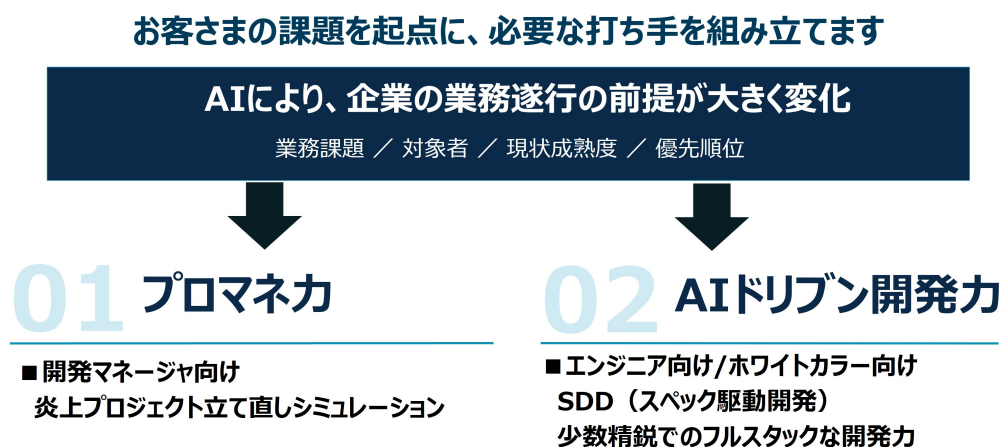
■2つの変革アプローチ

1. プロマネカ向上

目的・要件・タスクを構造化し、関係者を巻き込みながらプロジェクトを推進する力の向上

2. AI 活用力向上

AIを業務および開発プロセスに組み込む力の向上



生成 AI の急速な普及により業務遂行の前提が大きく変化するなか、AI 活用を個人にとどめては成果が属人化し、再現性や横展開が困難になるという課題があります。

本サービスは、これらの課題を打破するため、「プロマネカ」と「AI 活用力」を軸とした実践的な研修を提供し、AI 駆動経営を見据えた人材育成と業務変革を支援します。

■「STELAQ AI Dev Camp」がもたらす価値

1. プロマネカの型化による属人的ノウハウの組織知化
形骸化したプロセスを実態や個社ごとの炎上要因に即して再標準化することで、品質や納期のバラつきを解消します。また、ベテランから若手リーダーへのプロマネノウハウの継承にも寄与します。
2. AI 活用力の組織実装による個人依存からの脱却
AI 活用を組織全体で標準化し、現場業務に組み込むことで、ミッションクリティカルな大規模システム開発への対応力を高めるとともに、工数削減および職種別での活用定着を実現します。

STELAQ は、本サービスの提供を通じて、AI 駆動経営を支える人材と業務基盤の構築を支援し、企業の競争力向上に貢献します。今後も AI をはじめとする先進技術を積極的に活用し、価値創出の高度化に取り組んでいきます。

■ SOLIZE Holdings 株式会社

設立：1990 年 7 月

所在地：東京都千代田区三番町 6 番 3 号 三番町 UF ビル 3F

代表者：代表取締役社長 CEO 宮藤 康聡

資本金：1,000 万円

上場市場：東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：5871）

従業員数：2,526 名（連結：2025 年 12 月末時点）

事業内容：持株会社（経営戦略の策定資源の再配分、グループガバナンスの強化、
M&A 等の戦略投資、企業経営のスタッフ的機能）

URL：<https://www.solize.com/>

■ 株式会社 STELAQ

設立：2024 年 8 月

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5 丁目 27-5 リンクススクエア新宿 16F

代表者：代表取締役社長 山本 美希子

資本金：1,000 万円（+81 株式会社 100%）

事業内容：ソフトウェア開発サービス、第三者検証サービス、国際規格適合コンサルティングサービス

URL：<https://stelaq.co.jp/>

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

SOLIZE Holdings 株式会社 グループ広報部 剣持、清水

TEL：03-5214-1919

E-mail：solize-pr@solize.com